

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道195号 <small>であいおおと</small> 出合大戸バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県那賀郡上那賀町出合 至：徳島県那賀郡上那賀町大戸				延長	2.2km
事業概要	<p>国道195号は高知県高知市を起点とし、阿南市橋町を経て、徳島市に至る幹線道路である。当該工区は国道193号との交差部でもあり、広域幹線道路網を形成する重要な箇所となっているにも関わらず、険しい地形条件から線形が悪く、幅員狭小となっているため、交通の隘路となっている。また、落石の危険箇所が多く、異常気象時の事前通行規制区間となっており、幹線道路としての機能並びに安全性の確保が十分でなく、地域の活性化を図るうえで妨げになっている。</p> <p>出合大戸バイパスにより、交通隘路の解消を図り、安全な通行を確保するばかりでなく、国道193号へのアクセスの向上を図り、地域の振興に大きく寄与する。</p>					
H6年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H7年度用地着手		H7年度工事着手	
全体事業費	67億円		事業進捗率	74%	供用済延長	1.7km
計画交通量	2,400台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.5 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/事業全体 19/76億円 事業費：18/73億円 維持管理費：1/3億円	総便益 (残事業)/事業全体 31/267億円 走行時間短縮便益：30/257億円 走行費用減少便益：0/9億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性が向上）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） 他 7項目に該当</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	当該区間は、幅員狭小で落石の危険性も高いことから平成15年1月15日に上那賀町より早期整備を求めた要望があった。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当該工区内の幅員狭小で落石の危険が高く、平成14年度には、当該工区内の出合トンネル坑口において、落石があり、木頭村など孤立する集落があった。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年に「出合大戸トンネル」の開通により、1.7Kmの部分供用した。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部用地の取得が難航したことなどにより、大規模工事の着手までに時間を要したが、今後とも用地取得および工事を促進し、早期供用を図る。					
施設の構造や工法の変更等	流路工にプレキャスト製品を用いることにより、工期短縮を図った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。